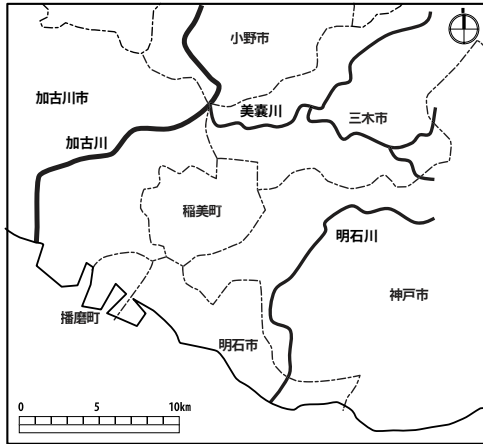


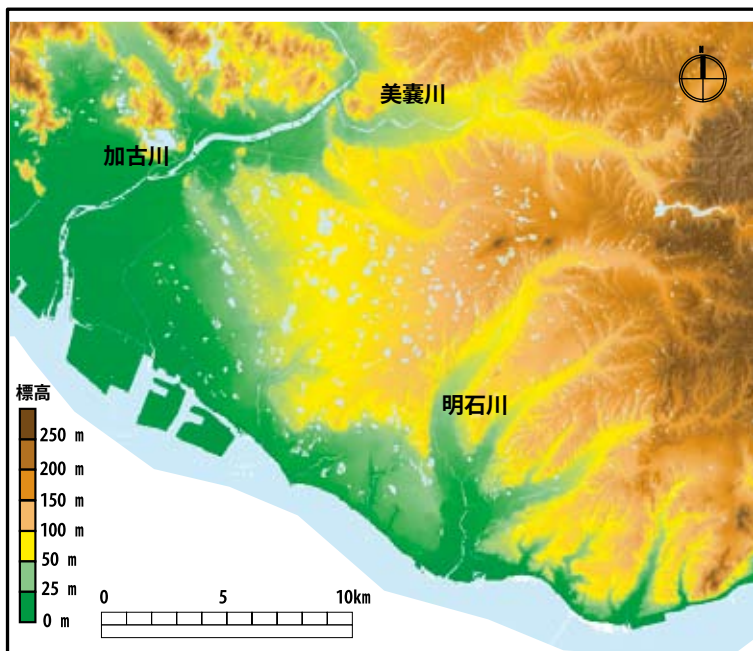
◎地域に関する事項

■いなみ野台地

いなみ野台地は、加古川、美囊川、明石川で区切られた土地で、稲美町を中心に三木市、神戸市、明石市、加古川市、播磨町の一部を含む地域です。周囲の河川より三十〜四十メートル高い位置にあるため、それら河川の水を簡単に利用することができず、降水量の少ない瀬戸内地方にあつて、特に水の恵まれない地域です。



行政区分図



標高段彩図

■万葉集

日本に残る一番古い歌集で、七六〇年ごろ（奈良時代）に編集されたと言われています。天皇や貴族から農民まで、あらゆる身分の人が詠んだ歌を約四五〇〇首以上も集めています。感情や自然の雄大さを素朴に表現したものの、庶民の心を描いたものなど多いのが特徴です。

また、当時はひらがなやカタカナがなかったので、日本語の読みを表すために漢字が使われています（例…宇美Ⅱ海）。このような漢字の使い方が万葉集に多くみられるため、万葉がなと呼ばれています。

『万葉集』にいなみ野を詠み込んだ歌が十数首見られます。

- ・ 稲日野も 行き過ぎがてに 思へれば 心恋しき 可
古の鳥見ゆ（二五三番歌）
- ・ 家にして 我は恋ひなむ 印南野の 浅茅が上に 照
りし月夜を（一一七九番歌）
- ・ 稲見野の あから柏は 時あれど 君を吾が思ふ 時
はさね無し（四三〇一番歌）